

教科目名 保健・体育（Health & Physical Education）

学科名・学年：全学科 4 年（教育プログラム 第 1 学年 ◇科目）

単位数など：必修 2 単位（前期 1 コマ，後期 1 コマ，授業時間 39 時間）

担当教員：川内谷一志，渋谷 武（全クラス担当）

授業の概要			
スポーツテスト（運動能力テスト，体力診断テスト）を実施して，個人の体力を把握させる。 実技種目では，積極的，意欲的な参加と活発的な活動を目指す。スポーツの実践を通じて，責任感を持ち，協調性のある行動がとれるようにする。スポーツマンシップについても十分な理解を促す。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1) (B1)，JABEE 目標 (a) (c)	
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。（ゲームと記録） (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し，ゲームを楽しむことができるようにする。（ゲーム）			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1, 2	1. 陸上競技	○3 年時に学習した走高跳を男女ともに復習する。 個々の記録測定を行う。	【理解の度合い】
3, 4	2. スポーツテスト	○ {運動能力テスト（4 種目），体力診断テスト（4 種目）} を正確に測定する。	
5-7	3. バレーボール	○男女混合チームもあり, 3 年時よりさらに個人技能を生かしたゲームの展開と審判法の習得。	
8-11	4-1. ソフトボール・ 軟式野球（男子）	○試合に重点を置いて指導する。交代で個人別試合結果表を記入する。	
	4-2. ソフト（軟式）テニス （女子）	○ダブルスのゲームを学習する。	
12, 13	5. 水泳	○クロール，平泳ぎ，横泳ぎ，背泳の習得。	
14-16	6-1. 軟式野球（男子）	○個人の技能をさらに向上させ，試合が楽しくできるようにする。試合結果を記録する。	【理解の度合い】
	6-2. 硬式テニス（女子）	○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。	
17-20	7-1. サッカー（男子）	○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。	
	7-2. 卓球（女子）	○個人技能の習得後，ダブルスのゲームを学習する。	
21-23	8. バスケットボール	○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。	
24-26	9. バドミントン	○男女共通の種目として行い，個人技能を向上させ，ダブルスのゲームを学習する。	
履修上の注意		授業は時間厳守とする。	
教 科 書		なし	
参 考 図 書		秋山兼範， 麻生紘二ほか，「最新スポーツルール」，大修館書店。	
自学上の注意		授業で行うスポーツのルールを調べておく。	
関 連 科 目		保健・体育（3 年，5 年）	
総 合 評 価		達成目標の(1)と(2)について実技で評価する。 総合評価＝授業で行った各種目の実技点の平均 総合評価は，前期評価と後期評価を平均して評価する。授業態度により，評価点からその 20%を上限として減点を行う。 総合評価 60 点以上を合格とする。再試験は，実施しない。	
		【総合評価】 点	